



2026年5月11日

各位

会社名 神鋼鋼線工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 北山修二
(コード番号 5660 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員 吉田裕彦
(TEL. 06-6411-1051)

2026年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異および、
剰余金の配当に関するお知らせ

2025年11月10日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたことおよび、剰余金の配当につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期の連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年11月10日)	百万円 35,000	百万円 950	百万円 950	百万円 800	円 銭 135.37
今回実績 (B)	33,074	653	660	1,120	189.64
増減額 (B-A)	△ 1,926	△ 297	△ 290	320	
増減率 (%)	△ 5.5%	△ 31.3%	△ 30.5%	40.0%	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	34,293	1,167	1,235	1,034	175.04

2. 実績値について(差異の理由)

特殊鋼線関連事業セグメントの自動車分野における中国での日系自動車メーカーの販売不振影響や、鋼索関連事業セグメントにおける労働力不足および諸コストの上昇に伴う需要低迷の継続等により、各セグメントにおいて想定以上に厳しい事業環境が継続しました。その結果、販売数量が減少し、売上高、営業利益および経常利益は予想値を下回りました。一方で、政策保有株式の売却や、2024年4月に発生したロープ製造所(尾上地区)におけるひょう被害による損害に係る受取保険金等を特別利益として計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は予想値を上回りました。

3. 剰余金の配当について

当社は、2026年5月11日開催の取締役会において、以下の通り2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議し、2026年6月26日開催予定の第94期定時株主総会に付議することとしましたので、お知らせします。

4. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年11月10日 公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	40円	20円	30円
配当金総額	236百万円	—	177百万円
効力発生日	2026年6月29日	—	2025年6月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

5. 理由

配当については、経営基盤の強化や将来の事業展開を勘案し、内部留保の充実を図りながら、連結配当性向 30~40%(年間)程度の継続的な利益還元を目指すことを基本方針としております。

当期の期末配当予想につきましては、2025年11月10日公表において、配当予想を1株当たり20円としておりましたが、上記基本方針および通期連結業績を総合的に勘案し、1株当たり40円とすることを決定しました。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金 (円)		
	中間	期末	合計
当期実績	25円	40円	65円
前期実績 (2025年3月期)	30円	30円	60円

以上